

# コロナ禍における教師や生徒の 気づきや学びを踏まえて 新学習指導要領を捉え直し、教育の 「これから」を考えるシリーズ特集を、 今号を起点に展開していきます

新型コロナウイルスの感染拡大と、それに伴う臨時休業を始めとした想定外の事態の中、自分ならではの感性を働かせて、学びや生活をより豊かなものにしようと行動した生徒たちは、新学習指導要領を通じて育成を目指す生徒の姿そのものだった。つまり、学校現場がこれから実現すべき教育は、既に新学習指導要領を踏まえて取り組んできた Before コロナの教育と決して非連続なものではないことを、多くの教師が強く実感したのではないだろうか。だからこそ、今回の事態を契機に、Before コロナの取り組みを肯定しつつも、その実施まで2年を切った新学習指導要領の理念を確実に実現するために、カリキュラム・マネジメントに基づいた教育活動の不断の見直しが必要であると改めて言える

月号	テーマ
8月号	【総論】教育の「これから」を考えるー「今」を見つめた未来の創り手たちー
10月号	【実践編①】高校教育の「今」と「これから」をつなぐ授業について考える(仮)
12月号	【実践編②】高校教育の「今」と「これから」をつなぐ学習評価について考える(仮)
2月号	【実践編③】高校教育の「今」と「これから」をつなぐ特別活動・部活動について考える(仮)

だろう。

そこで、本誌特集では、今号を起点に、「教育の『これから』を考える」シリーズを次号以降展開していく(右表)。今号(8月号)では、新学習指導要領の目的である「何ができるようになるか」という観点、すなわち、「育成を目指す「資質・能力」とは何か、それがどういった場面で発揮されたり、育まれたりするのかを、高校生や社会人、そして現

図 新学習指導要領の方向性と本誌特集の今後の発信テーマとの対応



\*中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」を基に編集部で作成。

イベントのご案内

## VIEW21 PRESENTS

## 自校の教師同士の対話を通じて、 教育の「これから」を考える オンライン・ワークショップ

2020年  
9月18日(金)  
オンラインで  
開催!

誰もが答えが1つではない問いに向き合うことが求められている時代、先生方にとっても、互いの考えや思いを共有する重要性が高まっています。今号の特集では、新学習指導要領の実施まで2年を切った今、改めて今回の想定外の事態を踏まえ、自校の教育の「これから」について考えるべきだといった声が現場の先生から上がりましたが、そうした取り組みには、自校の先生同士が考えや思いを率直に語り合う場が欠かせません。そこで、「対話による集合知」をもって予測困難だった今に立ち向かい、教育活動を推進し続けた長野県蘇南高校（本号P.26～29）の小川幸司校長と編集部のファシリテーションの下、自校の教師同士で、自校の教育の「これから」について考え、語り合うオンライン・ワークショップを開催します。

本号P.32～33のワークシートを用いながら、  
自校の教師同士の対話を通じて、自校の教育の「これから」を考えます

## 講師・ファシリテーター



長野県蘇南高校  
校長  
小川幸司

◎長野県教育委員会事務局・学びの改革支援課を経て、4月より蘇南高校校長。専門は世界史。中央教育審議会教育課程部会の社会・地理歴史・公民ワーキンググループの専門委員を務める。著書『世界史との対話』全3巻（地歴社）など。

## ワークショップの主な内容

### ① 8月号の特集について解説

蘇南高校の取り組みを中心に、8月号の特集について、小川校長と編集部が解説

### ② 自校の教師同士で対話

「対話による集合知」をもって教育活動を推進し続けた蘇南高校の小川校長と編集部のファシリテーションの下、本号P.32～33掲載のワークシートを用いた、自校の教師同士による対話を通じて、自校の教育の「これから」を考える

### ③ 質疑応答、議論内容共有

記事についての質疑応答と、各校の対話の内容の共有を行う

日時	2020年9月18日(金) 15時00分～17時00分
形式	オンライン(ライブ配信) 申し込みいただいた方に、詳しい参加方法をご案内します
参加申し込み方法・締め切り	QRコードから登録してください 参加申し込みは2020年9月15日(火)まで
参加費	無料

本号P.32～33のワークシートにお取り組みの上、  
自校の先生方と一緒に(2人以上)ご参加ください

場の教師たちの気づきや学びを通して改めて捉え直した。10月号以降は、そうした資質・能力を育むために、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」

という観点、すなわち、新学習指導要領で示された教育内容や授業・指導改善のあり方などの実践面について、コロナ禍における教師の実践や

生徒の成長・変容を通じて捉え直していく。「教育の『これから』を考える」シリーズを通して発信する情報を、

各校の「これから」の学校づくりに役立てていただきたい。